



12/14 NST 学習会の報告です。参加者 14 名でした。

1. TPNの現状と問題点 p.3 無脂肪の高カロリー輸液による弊害 **栄養管理と脂肪** 1. TPNの現状と問題点 p.4 無脂肪の高カロリー輸液による弊害 **栄養管理と脂肪**

### 必須脂肪酸とは？

必須脂肪酸	二重結合の位置	構造式
リノール酸	6位	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4(\text{CH}=\text{CHCH}_2)_2(\text{CH}_2)_6\text{-COOH}$
-リノレン酸	3位	$\text{CH}_3\text{CH}_2(\text{CH}=\text{CHCH}_2)_3(\text{CH}_2)_6\text{-COOH}$

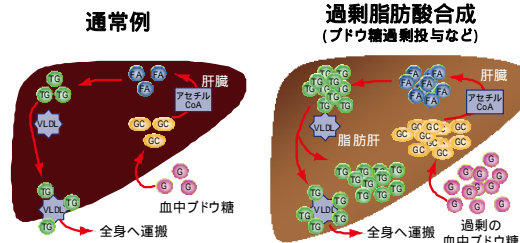
### 必須脂肪酸の欠乏症状

n-6系 (リノール酸) 脂肪酸	魚鱗癬状皮膚症状、血小板減少、異常心電図 (R波)、創傷治癒の遅延、肝小葉中心性脂肪沈着(脂肪肝)
n-3系 (-リノレン酸) 脂肪酸	知覚麻痺、知覚異常、倦怠感、歩行不能

欠乏症状を予防するためには、  
10g/日程度投与すればよいとされています。

監修：長島中央病院 名誉院長 入山圭二

### 肝臓におけるブドウ糖の代謝(通常と過剰投与)



監修：長島中央病院 名誉院長 入山圭二

脂肪乳剤の使用方法について株式会社大塚製薬工場担当者からお話しいただきました。

### 1. TPNの現状と問題点

テーマは

### 2. 脂肪乳剤投与時の注意点

こちら

### 3. 脂肪乳剤の投与方法



### 4. 各種疾患における脂肪乳剤の投与

### 5. 脂肪乳剤の副作用と相互作用

### 6. 脂肪乳剤の禁忌

まず、脂肪を消化管から投与できない症例では脂肪乳剤の投与が必須です。なぜなら、無脂肪の高カロリー輸液を投与し続けると、必須脂肪酸欠乏の恐れがあるからです。また、必要エネルギー量を投与するためにブドウ糖を過剰に投与すると、投与された糖分は肝臓で脂肪に変換され、早ければ数週間で肝臓における脂肪沈着があり脂肪肝の発症につながります。

高カロリー輸液において脂肪乳剤を併用することにより、エネルギーの供給、水分負荷の軽減、栄養素をバランスよく補給できるというメリットがあります。

次回の学習会は 02月08日 第2水曜日 17:30~ です。

テーマ「終末期の栄養管理」 講師：久保医師 です。

終末期の栄養管理についても詳しくお話ししていただけます。

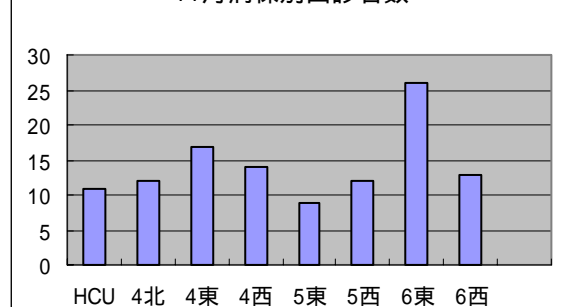
どなたでも参加できるオープン形式ですので、お気軽にお越しください。



11月分の実績です。

	TPN(延べ人数)	EN(延べ人数)	PEG造設数	新規介入数	延べ回診者数
11月	158	255	2	28	114

11月病棟別回診者数



NSTの介入患者さんは週1回の体重測定、SGA評価の実施を宜しくお願いします。

TPN・・・中心静脈栄養(高カロリー輸液)

EN・・・経腸栄養(経鼻・胃ろう等からの経管栄養)

文責：NST専従 管理栄養士 飛鳥田 智子